

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			/
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	平成 31 年度
項 目	資料作成費	金 額	208円
内 容	コピー代3月分		
支 払 先	株式会社 六甲商会	支払年月日	平成31年 4月26日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

領 収 証

領収証No. 20190426280126377

平成31年 4月 26日

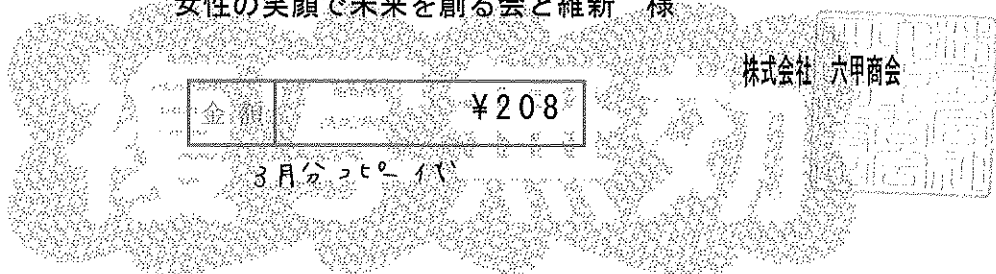
下記の通り正に領収致しました。

女性の笑顔で未来を創る会と維新 様

株式会社 六甲商会

金額 ￥208

3月分コピー代



代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			2
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	平成 31 年度
項 目	資料購入費	金 額	29,484円
内 容	D-file 2019年4月～9月号他		
支 払 先	イマジン出版株式会社	支払年月日	平成31年 4月22日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

ご利用明細票

お取扱日	店 番	取 扱 番 号
31-04-22	43016	A93280004
取扱店	ココガワ	
払込口座		
払込金額	*29,484	料 金 *0
振替受付票 払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。 (ゆうちょ銀行) 現金 イマジン出版株式会社 〒590-0001 兵庫県加古川市加古川町北花畑200 加古川市議会 女性活躍推進を創る会と維新 様 入金金額 *29,484 おつり *0		
初めての投資信託を ゆうちょが応援します！		

印紙税申告納
付につき趣町
税務署承認済

女性の笑顔で未来を創る会と維新 様

下記の通り納品致します。

¥29,484

イマジン出版株式会社
代表取締役 三
〒112-0013 東京都 幸三
T 5-8
F 520
623

行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2019年4月発行号 上・下	2	2,430	4,860
2	D-file 2019年5月発行号 上・下	2	2,430	4,860
3	D-file 2019年6月発行号 上・下	2	2,430	4,860
4	D-file 2019年7月発行号 上・下	2	2,430	4,860
5	D-file 2019年8月発行号 上・下	2	2,430	4,860
6	D-file 2019年9月発行号 合本	1	3,024	3,024
7	Beacon Vol.78(夏号),Vol.79(秋号)	2	1,080	2,160
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要	合計	13		29,484

女性の笑顔で未来を創る会と維新 様

下記の通り御請求申し上げます。

¥29,484

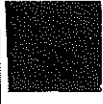
イマジン出版株式会社
代表取締役 三
〒112-0013 東京都 幸三
T 5-8
F 520
623

行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2019年4月発行号 上・下	2	2,430	4,860
2	D-file 2019年5月発行号 上・下	2	2,430	4,860
3	D-file 2019年6月発行号 上・下	2	2,430	4,860
4	D-file 2019年7月発行号 上・下	2	2,430	4,860
5	D-file 2019年8月発行号 上・下	2	2,430	4,860
6	D-file 2019年9月発行号 合本	1	3,024	3,024
7	Beacon Vol.78(夏号),Vol.79(秋号)	2	1,080	2,160
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要	合計	13		29,484

振込口座 銀行 支店

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			3
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	平成 31 年度
項 目	広報費	金 額	18,576円
内 容	長封筒1000枚(印刷代含む)		
支 払 先	有限会社井上文尚堂	支払年月日	平成31年 4月22日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

領 収 証		No. _____																
		平成 31 年 4 月 22 日																
女性の笑顔で未来を創る会と維新様																		
金 額	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">千</td> <td style="width: 10%;">百</td> <td style="width: 10%;">十</td> <td style="width: 10%;">万</td> <td style="width: 10%;">千</td> <td style="width: 10%;">百</td> <td style="width: 10%;">十</td> <td style="width: 10%;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>7</td> <td>18</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </table>	千	百	十	万	千	百	十	円			7	18	5	7	6		収 入 印 紙
千	百	十	万	千	百	十	円											
		7	18	5	7	6												
但し長封筒代として 上記の金額有難く領収いたしました																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>現 金</td><td></td></tr> <tr><td>小切手</td><td></td></tr> <tr><td>約束手形</td><td></td></tr> <tr><td>相 殺</td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> </table>	現 金		小切手		約束手形		相 殺				印章・デザイン・印刷・看板 有限会社 井上文尚堂 〒675-0066 加古川市加古川町寺家町13-2 TEL (079) 421-2603 FAX (079) 421-2604							
現 金																		
小切手																		
約束手形																		
相 殺																		
	取扱者印 																	

平成31年4月2日

女性の笑顔で未来を創る会と維新 御中

加古川市加古川町寺家町13-2

TEL: 079-421-2603

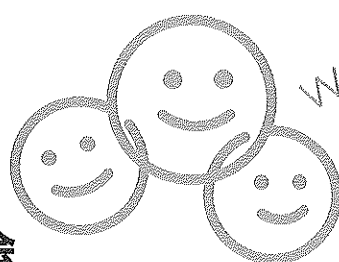
FAX: 079-421-2604

支払条件: 貴会規定による

No.	品名及び仕様	数量	単価	金 額
	長3封筒 印刷			
1	封筒：パステルピンク 刷り色：墨1色 差し込み口：テープスチック付き	1000枚		15,700
2	初回のみ 版下代	1式		1,500
	小 計			17,200
	消費税	8%		1,376
	合 計			¥18,576

料金別納郵便

--	--	--	--	--	--	--



Women!
Smile!
Future!

加古川市議会

女性の笑顔で未来を創る会と維新

〒675-8501

加古川市加古川町北在家2000 加古川市議会内

tel. 079-427-9303 fax. 079-424-9043

代 表 者	経理責任者

支 払 伝 票		経理番号
		4

会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	平成 31 年度
項 目	広報費	金 額	26,158円
内 容	市政報告書郵送代(319名)		
支 払 先	加古川郵便局	支払年月日	平成31年 4月22日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

領収書

女性の笑顔で未来を創る会と維新様

[別納引受]		
第一種定形		
⑧82	319通	¥26,158
小 計		¥26,158
郵便物引受合計通数	319通	
課税計	¥26,158	
(内消費税等	¥1,937)	
非課税計	¥0	

合計	¥26,158
お預り金額	¥30,208
おつり	¥4,050



〒100-8792 日本郵便株式会社
 東京都千代田区大手町2-3-1
 取扱日時：2019年 4月22日 9:29
 担当：[Redacted]
 発行No. 190422A4458 端N68箱03
 連絡先：加古川郵便局
 TEL:079-422-3383

女性の笑顔で未来を創る会と維新

Josei no Egao de Mirai wo Tsukuru Kai to Ishin / CITY COUNCIL REPORT

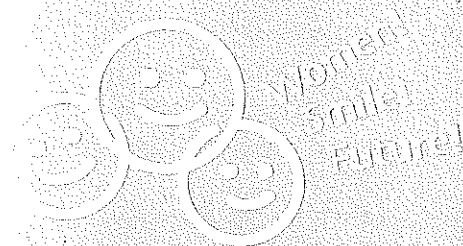
お母さんの笑顔は子供にとって一番の喜びです。

女性の笑顔は、すべての人に前向きに生きる力を与えます。

女性の笑顔は明るい未来を創ります。

わたしたちは、この度新しい会派を作りました。その名は、

「女性の笑顔で未来を創る会と維新」です。



笑顔溢れる 地域社会のために

誰もが、自分の個性を活かし
イキイキと暮らせる社会を作りたい。
例えば・・・
女性の健康支援に関する取り組み
などを推進します。

笑顔溢れる 子育て・生活のために

喜びや楽しみを感じながら、
安心して子育てに励んで欲しい。
例えば・・・
子育てをプラチナ世代や、
中高大学生がサポートする
制度などを推進します。

笑顔溢れる 保育教育のために

すごいスピードで変化する社会を
生き抜く力を子供たちに育んで欲しい。
例えば・・・
命の大切さを教える
教育・性教育などの充実します。

——— 上記の考えにより、以下の代表質問や裏面の100の政策提言を行いました。

平成31年3月5日の代表質問で柘植代表が
市長に以下の質問を行いました。

【性活躍の推進について】

現在我国では、働き方が社会経済構造の変化に対応できず、仕事と家庭生活を両立することは困難です。自己の存在価値を実感しながら働くことと、明朗・愛和の精神あふれる家庭を持つことの調和を社会全体で探求する必要があります。

かかる社会を実現するために、加古川市においても、女性活躍推進法第15条に基づき、一人ひとりの女性が、個性と能力を十分に発揮できる環境を整備することを目的として、次世代育成支援・女性活躍推進 加古川市特定事業主行動計画が出され、数多くの改定がなされました。現時点での状況と、これからの取組に関する目標・決意をお聞かせください。

また加古川市男女共同参画行動計画の基本方針Ⅳ、男女が仕事も家庭もともに担う社会づくりに関して現時点での状況とこれからの取組に関する目標・決意をお聞かせください。

最後に女性活躍推進法に基づく認定企業（えるぼし認定企業）が公共調達で有利になるという国の仕組みを加古川市においても導入することを求めます。



会計 落合 誠 代表 柘植 厚人 副代表 鏑木 良子

今後の市議会の予定

- 3月11日(月)
本会議(委員会審査報告)
- 3月12日(火)
本会議(条例・単行議案)
- 3月13日～15日
各常任委員会(31年度予算等)
- 3月26日(火)
本会議(最終日)

平成31年度 政策提言並びに補正予算要望しました。

女性の笑顔を増やす100の政策



● 笑顔溢れる子育て・生活のために
喜びや楽しみを感じながら、安心して子
育てに励んで欲しい。

1. 貧困家庭への学習支援
2. 貧困家庭の高校進学費用補助
3. ひとり親家庭の情報交換の場の充実
4. 高校生・大学生の通学費の補助(所得制限有)
5. 制服等をリサイクルするシステムの構築
6. 子育てプラザの増設(3カ所目)
7. 3人以上のお子さんの誕生祝金
8. 育児休暇の充実
9. 孫育て休暇制度の導入
10. イクメン・イクジ育成強化
11. 妊婦相談ダイヤルの設立
12. 妊婦の外出支援策の充実
13. 子どもの予防接種支援の充実
14. 子ども(未成年者)テーマの事業等での公的施設の減免制度の設立
15. 子育て支援企業表彰・認定制度確立
16. 赤ちゃんトイレ設置補助
17. すべての障がい者支援体制の強化と相談窓口の増設
18. 子育てプラザに隣接した図書館分室の設置
19. ボランティアポイント制度の子育て支援へのポイント制度拡大
20. 孫世代と外出する時のかこバスや施設の割引制度の確立
21. バリアフリー化推進企業表彰・認定制度確立
22. 3世帯住宅補助
23. 自転車レーンの設置
24. 生活保護適正化推進事業
25. プレーパークモデル事業の実施
26. ギャンブル・覚せい剤等依存症相談窓口の設置
27. 離職者の復帰支援アドバイザーなどの設置
28. 役所での男性職員の育児休暇取得率の向上
29. 民間の育児休業取得率等を公共調達における加点要素にする制度の導入
30. 低所得者家庭の入学準備補助制度
31. こども食堂のネットワーク化による人的資源、物的資源の最適化
32. 子どもの朝ごはん支援
33. 無農薬・無添加こども食堂の実現
34. 里親制度の充実
35. 子育てをプラチナ世代や、中高大学生がサポートする制度
36. 子育て環境の安全性の向上

● 笑顔溢れる保育・教育のために
すごいスピードで変化する社会を生き
抜く力を子供たちに育んで欲しい。

37. 将棋教育の実施
38. 保育料・幼稚園料の無償化
39. 幼稚園へのエアコン設置
40. 病児・病後児保育の充実
41. 24時間営業保育園の設立
42. 保育の人材バンク(ボランティアを含む)の小学校区単位の設置
43. 小学校への専属の図書館司書の配置
44. 中学校給食の1日でも早い実施
45. 給食費の一部公的負担
46. 小学校でのキャリア教育の職業体験の充実
47. 児童クラブの質の向上
48. 放課後子ども教室の更なる充実
49. 通学路の安全対策の強化
50. いじめ防止条例制定
51. 手話言語教育の実施
52. 保護者や地域の意見を反映したコミュニティスクールの設立
53. がんばる先生を支援する体制の確立
54. 小中学校の体育館等へのエアコン設置
55. 部活動顧問の民間人起用制度の導入
56. 学校園での警備員配置に対する補助
57. 学校園ボランティアへの備品購入補助
58. 学校園洋式トイレ設置
59. 学校園ICT化の促進
60. 給食時のミネラル補給強化
61. 副教材にかかる費用補助
62. 先生の過重労働の緩和
63. 学校園のバリアフリー化の推進
64. 起業家教育
65. 自炊教育・挨拶・礼儀・マナー教育
66. お金の教育
67. プログラミング教育の充実
68. 新しい発音教育など、使える英語教育
69. 自然に親しむ教育・環境教育の充実
70. 生の大切さを教える教育・性教育の充実
71. ニート・引きこもり・不登校支援・生きる力をはぐくむ教育
72. 起業家コース、総合芸術コース等魅力的なフリースクールの創設

● 笑顔溢れる地域社会のために
誰もが、自分の個性を活かしイキイキと
暮らせる社会を作りたい。

73. 子ども食堂への支援
74. 子どもの居場所の充実
75. 地域ぐるみの子育て支援策の充実
76. 少年団等と地域の共同事業への補助
77. 障がい児の地域交流への補助
78. 認知症・子ども等の災害時の避難所への移動支援制度の確立
79. 「ごみ屋敷」適正化に向けた条例等の整備
80. 地域と連携した自然教育の取り組み
81. 即興劇・演劇など総合芸術による社会変革・教育改革
82. プラチナ世代の方々が風あけ等自己の経験をこども達に伝える制度
83. 循環型エネルギーモデル地域の構築
84. 高校3年生までの入院費の無償化
85. 認知症相談窓口の設置と充実
86. 役所の介護休暇・休業制度の充実と民間への普及促進の取り組み強化
87. 婚活施策の充実
88. 女性議員候補者支援
89. LGBT支援
90. 育児と介護のダブルワーク軽減策の充実
91. 中心市街地への若者・女性進出補助
92. 女性等の就労に関する市の相談窓口等の設置と体制の充実
93. テレワークなど新たな働き方の支援の充実
94. 働き方改革としての情報提供と共有できるICT化の確立
95. 役所が先進的な取り組みを行うための「特定事業主行動計画」の推進
96. 女性限定の採用説明会の実施
97. 役所の管理職における女性比率の向上
98. スキルアップ補助制度
99. 女性の健康支援に関する取り組み
100. 虐待、DV対策の充実



市民お一人お一人からのご要望やご意見を取り入れて政策を常に進化させ、取組んで行きます。今後もみなさまからの政策などのご意見ご要望を受付けています。



勤労会館で2月16日に市民の皆様と意見交換を行いました。代表質問等に反映します。

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			5
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度
項 目	調査研究費	金 額	4,020円
内 容	兵庫県男女共同参画センター(イーブン)視察		
支 払 先		支払年月日	令和元年 5月 15日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

出張調査届

令和 元 年 5 月 7 日

市 議 会 議 長 様

会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

代表者 柘植 厚人



このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名

柘植厚人 落合誠 鰐木良子

調査都市名及び調査内容

6月15日（水） 14：00～ 兵庫県立男女共同参画センター
「女性活躍社会の実現に向けた男女共同参画について」
（神戸市中央区川崎町1丁目1番3号）

出張期間 令和元年5月15日（水）から令和元年5月15日（水）（1日間）

旅 費 内 訳	日 当 (単価 円 日分)	円	経 路
	宿 泊 料 (単価 円 日分)	円	徒歩 { 加古川市役所
	鉄 道 賃 (670 円 × 2)	1,340 円	加古川駅 { JR
	急 行 料 金 ()	円	神戸駅 {
	航 空 賃 ()	円	兵庫県男女共同参画 センター・イーブン {
	車 賃 (円 ×)	円	以下復路 {
	船 賃 ()	円	{
	出席者負担金 ()	円	{
	そ の 他 ()	円	{
	合 計	1,340 円	{

※ 届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。

※ 1,340円×3名=4,020円



出張調査研修報告書

令和 平成 元年 五月 二十一日

市議会 議長様

会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

出張者氏名 板植 厚人

落合 誠

鈴木 良子

印

印

下記のとおり報告します。

日 程 令和 平成 元年 五月 十五日 ~ 平成 年 月 日

視察先 兵庫県男女共同参画センター

視察(調査)事項

別紙

復命事項(所見及び感想)

別紙

出張に伴う経費の精算

前 渡 金 額 4020 円

精 算 額 4020 円 過 不 足 額 0 円

※報告者が議員の場合は、出張者氏名欄に記入のこと。

別紙

柘植 厚人
落合 誠
鏑木 良子

兵庫県男女共同参画センター視察調査研修報告書

第1 視察（調査）項目

神戸市にある、兵庫県男女共同参画センター（愛称「イーブン」）において、[REDACTED] 副
所長兼調整課長から、同センターの活動等についてご教授いただいた。

第2 復命事項（所見及び感想）

質問1

女性活躍推進センターの活動（①女性活躍推進専門員による支援、②専門講師・アドバイザーの派遣、③ロールモデルの発掘と紹介、④各種セミナーの実施、⑤大学等への啓発）の具体的な内容・効果と費用についてご教示ください。

ご回答

① 女性活躍推進専門員による支援について

・具体的な内容

兵庫県内の企業からの依頼に基づいて、女性活躍推進専門員が企業を訪問し、管理職の方々と以下の4つの基礎項目（①採用者に占める女性比率、②勤続年数の男女差、③労働時間の状況、④管理職に占める女性比率）について女性の活躍を妨げている要因を話し合い、解決の糸口を見つける。

ちなみに費用は無料である。

・感想

女性活躍をどこから始めればよいか分からない企業の管理職にはそもそも解決すべき課題を把握することが困難である。自社の現状や課題を客観的に把握するために有効な支援と考える。

② 専門講師・アドバイザーの派遣

・具体的な内容

社内で女性活躍を推進するにあたって、研修を実施する企業に、より専門的な講師を派遣す

る。これも費用は無料である。

・感想

各企業のニーズに応じた内容や講師を選定派遣する支援である。この点においてオーダーメイド型の優れた支援であるといえる。

対象は企業に限定されているため、一般的な勉強会への講師派遣はしていない点が残念である。ただし、一般的な勉強会の講師選定のお手伝いは可能とのことである。女性活躍推進を目指すわが会派の勉強会の講師選定のお手伝いをしていただけるとありがたいと感じた。

③ ロールモデルの発掘と紹介

・具体的な内容

専門員が企業訪問で出会ったイキイキと働く女性ロールモデルをインタビューしてホームページなどで紹介している。

・感想

様々な職種、肩書のロールモデルのインタビューが紹介されている。したがって、その中から自分の境遇に近い方や、共感できる方を見つけることが可能である。ロールモデルはいわば航海における北極星といえる。つまり、キャリア形成の旅路の過程において多少の困難があっても目指すべき憧れのロールモデルがいれば、進む方向がぶれないという効果がある。

④ 各種セミナーの実施

・具体的な内容

女性活躍の最新情報や、他社事例の提供、企業の壁を超えたネットワークづくりを目的とするセミナーを実施している。

・感想

このセミナーは講義のみならず、ランチミーティングやグループワークから構成されている。1日フルに使うものである。このような充実した内容のセミナーを無料で提供していることに感銘をうけた。セミナー参加者の方々のお子様たちを預かる託児室が充実していた。託児室には各種遊具、消臭炭、不審者が侵入した際に警察に容易に通報できる装置が完備されていた。また託児室からの景色が素晴らしかった。眼下には港、駅、鉄道、高速道路を見下ろすことができ、子供たちにも好評であるとのことである。これにより保護者の方々は、子供の心配をすることなく、安心してセミナーを受講することができると考える。

⑤ 大学等への啓発

・具体的な内容

就職を考える女子大生等に職業講話を実施している。女性活躍推進の意義やキャリア形成の大切さなどを啓発している。大学生が課外ゼミの一環として当センターに来られた際に啓発を行う場合もある。

・感想

女子大生が女性活躍推進の意義やキャリア形成の大切さを、腹の底から納得して、ライフプランを立て実践することは重要である。これにより自分の人生を強くしなやかに生きることが可能となる。

質問 2

女性活躍推進法の全面施行により多くの分野で女性の参画が進みつつあります。しかし、各分野の指導的地位に占める女性割合は依然として低い水準にあります。この理由についてどのようにお考えですか。

・ご回答

制度的課題、意識の問題など理由は複合的であると考えます。

・感想

男性と伍して戦い、各分野の指導的地位に立つことを切望する女性も、専業主婦になったり、各分野で責任のある地位に就くことを望まない女性も等しく尊重される柔軟で柔らかな社会になればよいと考える。

第 3 全体の感想

女性活躍推進センターの職員の方々がイキイキと創意工夫をして誇りをもって働いておられることに感銘を受けた。女性活躍推進に関する書籍や DVD の展示も書店のようで、大変センスが良かった。例えば人気書籍ランキングの表示をすることにより、利用者の向学心をうまく刺激していた。ここで楽しく学び、新しい職業人生を力強く踏み出すことができる施設であると感じた。また DV 被害等により男性に対して恐怖心を抱いている女性が安心して相談することができるように部屋分けをするなど利用者本位の施設となっていた。

以上

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				6
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	調査研究費	金 額	 131,790円 161,790	
内 容	資生堂本社「女性活躍支援と企業内保育について」視察 地方議員セミナー「幼児教育・保育「無償化」と保育行政」研修			
支 払 先		支払年月日	令和元年 5月 23日	
備 考				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

No.27

2019年4月22日

領 収 証

女性の笑顔で未来を創る会と維新 様

¥30,000 —

但し 地方議員セミナー『幼児教育・保育「無償化」と保育行政』(2019年5月24日開催)参加費3名様分として

上記金額正に領収いたしました

保 育 研 究



〒162-0837

東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ

Tel. 03-6265-3173 Fax. 03-6265-3230

代表 村山祐一

出張調査届

令和元年5月15日

市議会議長様

会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

代表者 柘植 厚人



このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名

柘植 厚人、落合 誠、鏑木 良子

調査都市名及び調査内容

5月23日(木) 資生堂本社 10:00~12:30

「女性活躍支援と企業内保育について」

5月24日(金) 地方議員セミナー 受講 10:00~16:30

「幼児教育・保育「無償化」と保育行政」

出張期間 令和元年5月23日(木) ~ 5月24日(金) (2日間)

旅 費 内 訳	日 当 (単価 円 日分)	円	経 路
	宿 泊 料 (単価 14,000円 × 1 日分)	14,000 円	※行程表のとおり
	鉄 道 賃 (8,640円×2 +200)	17,480 円	
	急 行 料 金 (6,330円 +6,120円)	12,450 円	
	航 空 賃 ()	円	
	車 賃 ()	円	
	船 賃 ()	円	
	出席者負担金 (10,000円)	10,000 円	
	そ の 他 ()	円	
	合 計	53,930 円	

※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。

※往復割引適用後の運賃 9,610円×0.9=8,640円 (10円未満切捨て)

※53,930円×3名=161,790円

視察行程表

令和元年 5 月 22 日（木）～24 日（金）

【5 月 23 日（木）】

加古川駅 5:36 発 —（JR 神戸線）— 5:53 着 西明石駅 6:00 発 —（JR 新幹線）— 8:46 着 品川駅
9:05 発 —（JR 山手線）— 9:13 着 新橋駅 —（徒歩）— 資生堂本社事務所汐留オフィス
(視察会場)

【資生堂 行政視察】

10:00～12:30 「女性活躍支援と企業内保育について」

株式会社資生堂 社会価値創造本部ダイバーシティ&インクルージョン室

ご担当: XXXXXXXXXX

(宿 泊)

【5 月 24 日（金）】

新橋駅 9:06 発 —（JR 山手線）— 9:33 着 代々木駅 —（徒歩）— 全国理容生活衛生
同業組合連合会ビル（研修会場）

【地方議員セミナー受講】東京都渋谷区代々木 1-36-4 全理連ビル 9 階会議室

10:00～16:30 「幼児教育・保育「無償化」と保育行政」

研修会場 —（徒歩）— 代々木駅 17:17 発 —（JR 山手線内回り）— 17:35 着 品川駅
17:47 発 —（JR 新幹線）— 20:10 着 新大阪駅 20:30 発 —（JR 新幹線）— 20:52 着
西明石駅 — 20:59 発 — 21:09 着 加古川駅



出張調査研修報告書

令和 元年 6月 18 日

市 議 会 議 長 様

会 派 名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

出張者氏名 柘植 厚人

鰐木 良子

落合 誠



下記のとおり報告します。

日 程 令和 元年 5月 23日 (木) ～ 5月 24日 (金)

視 察 先 株式会社資生堂本社視察・地方議員セミナー受講

研修事項

資生堂本社【女性活躍支援と企業内保育について】

地方議員セミナー【幼児教育・保育「無償化」と保育行政について】

復命事項（所見及び感想）

別紙にて

出張に伴う経費の精算

前 渡 金 額 161,790 円

精 算 額 161,790 円 過 不 足 額 0 円

株式会社資生堂「女性活躍」について視察報告書別紙

令和元年 6 月 17 日

報告者 落合 誠

柘植厚人

鏑木良子

株式会社資生堂の社会価値創造本部室長より女性活躍についての取り組みについて説明をいただきました。

資生堂では、女性活躍をステージ 3 までの計画として、日本は古来より、女性が寿退社が一般的であり、その後、第 1 ステージとして、2004 年から子どもができるまで継続的に勤めてもらえるように制度改革し、2010 年からは、ステージ 2 として、活躍に向けた基盤整備となる守りの政策である、女性が育児をしながら仕事を継続しやすいような制度の取り組みである育児休暇や時短や土日が休めるなどの現在の一般的な企業が取り組んでいる制度を早くから取り入れて出産や育児で退職しない会社作りを行いました。

当時は、社内から、出産や育児の社員が優遇されて、他の社員へのしわ寄せなどにより不満等が出ることも多くギクシャクした社内となっており、他の同業社員が育児期だけ、制度が充実して給料も高い資生堂に入社し、その期間のみ勤めて、その後に以前の会社に戻るような活用も多く出てきたため、第 3 ステージとして、真の活躍となる男女ともに育児や介護をしながらもキャリアアップできる制度を導入して、プロフェッショナルの育成として、制度拡充をストップし、一律支援から一人別配慮に移行し、時間制約に関わらず公平に評価するものとしたステージに入りました。

これが、一般的に資生堂ショックと言われたものであります。

この資生堂ショックは、2014 年からは 2015 年に育児期の BC1200 名について、これまでの遅番シフトや土日勤務免除を撤廃し、全員に遅番や土日勤務を課すことを宣言し実行したものです。結果として 1200 人中 30 人が退職したものの 1170 人が同意のうえで働き方を変更し、一律でなく個別の状況と周囲の環境等で個別に配慮したものになりました。

そんな取り組みを模範的な取り組みだと AERA が取り上げ、その 2 年後に NHK で資生堂ショックとのタイトルで取り上げられました。当時は、資生堂が女性の敵であるみたいなツイッターが多くあったそうです。結果的には、資生堂ショックから新しい働き方を考えるきっかけになったようであり、男性女性に関わらず当たり前前に育児や介護がしやすい社会が必要であり、地域に合わせたステージに向けた取り組みを実施しやすい環境整備を行政がやっていかないと感じました。

今後は、各会社の努力だけでなく子どもの時からのジェンダー教育が重要であり、意識しないでも当たり前の時代にしていかないといけないと実感しました。

その後、企業内保育所を見学し、都会の中のビルの 1F にある保育所を見学しました。

この保育所は、社員が年度途中から、他の保育所入所困難時に活用してもらい、社員がスムーズに復帰をいつの時期にもしやすい状況するために運営されており、定員 40 名に対して毎年、年度初めの 4 月には、10 名前後の受け入れで 10 月頃には定員に近くなるそうです。基本的には、翌年には、他の保育所に通うのが前提であり、社員の育児と仕事の充実に役立っているそうです。

社員数も多く、タイムリーな仕事復帰には、大変有効的な取り組みであると思われます。

目的からして当然の事ですが、赤字経営を会社が負担することで経営をしているそうで、社員の活躍を加味した制度と考えられます。

加古川市では、同規模の企業があまりないのですが、働き方改革の有効的な取り組みであると感じました。

以上

日 程	令和元年 5 月 24 日(金)
視 察 先	全国理容生活衛生同業組合連合会ビル9階会議室 東京都渋谷区代々木 1-36-4
テ ー マ	幼児教育・保育「無償化」と保育行政について
報 告	講義①保育制度の基本、近年の政策動向と「無償化」について ・保育制度の基本、市区町村の実施責任・最低基準をもとにした認可保育所による保育の提供が原則だという事、子ども・子育て支援新制度の予備知識と導入前後の事情については、介護保険の仕組みを保育分野にも導入したという基本と、様々な議論があった中で、平成 24 年に大幅に修正をされた法案の具体的な内容を学んだ。 ・雇用の不安定化による共働き世帯の拡大、子育ての社会化・共同化のために不可欠な存在であり、社会的にも重要性を増す保育であるが、少子化が進んでいる中で、本格的な施設を増やしてはいけない意見もあった。 ・保育所・幼稚園の児童数の推移を見ると、2017 年幼保連携型認定こども園が増加し、保育所入所が減少している状況が見えた。 ・2歳児保育は、今後も拡大していく ・3 歳児の無償化により、一気に保育施設を利用する人が増えるので、対応が必要 ・保育制度の大きな 4 つの課題の中で、保育士が確保できない、すぐ辞めていく、ここをどう改善していくか、保護者の負担の軽減もあるが、質の確保も重要であり、岐路にたつ保育制度の状況、問われる自治体の在り方は参考になった。 講義②子ども・子育て支援法改正法-概要・法的問題・自治体の課題など- ・子ども・子育て支援法改正法とは、一言でいうと施設等利用費の支給の仕組みを定めたもの。 ・保育所・幼稚園などの無償化は、政令改正によるので、内閣の判断により、“無償化”措置を行う・行わない、その対象、範囲など自在に変更できることになり、その時々々の政府の政策により左右される。 ・保護者から実費で徴収する費用(通園送迎費、食材費、行事費など)については、無償化の対象とならない。現状では、主食費は保護者負担、副食費は保護者負担はないと理解されている。主食費、副食費の材料費も保護者負担の実費徴収となり、保育所が、食材料費全額を実費徴収した時に、未納が生じたときに、どうするかといった課題も出てくる。 報告と討論「無償化」の影響と自治体保育行政 ① 認可外施設・ファミサポを「無償化」対象にする影響 ・基準を満たさない認可外は、自治体が抜き打ち調査を含む指導監督体制の徹底をすべき ・低所得者層が、基準を満たしていない保育園へ預ける可能性が多い。

- ・各市町村によって条例で定められている。
- ・公的過失保険に入られないようなレベルの保育は排除すべき。
- ・認可外保育の死亡事故率は、認可の 26 倍であり、基準違反の指摘は多い
- ・負担の軽減=無償化の前に、配置基準の改善を求める。
- ・ファミリーサポート事業についても、「地域の助け合い」による、緊急的・一時的な「預かり」であるため、基準がない事も指摘されていた。
- ・安全確保や対策についての徹底した自治体への提案も非常に参考になった。

② 幼児教育・保育の「無償化」と給食問題について

- ・保育料が「無償化」なのに、給食費(主食費+副食費=7500 円※内閣府試算)を徴収となると、低所得者層の負担増になり、通所への不安を生み出しかねない事や、徴収事務は施設での負担となり、事務量が大幅に増加。滞納者への対応が求められ、給食費の確保など一層大変さが拡大することを懸念されていた。
- ・給食の計画や、食の安定した対応が不安定になる。アレルギー食や行事食への対応に難しさが生じる。滞納者じゃお弁当持参などの問題も起こりかねない。保育指針の「食育の推進」は形骸化されかねないとの指摘。
- ・子どもの間に格差を持ち込むことになりかねない。給食の楽しさが子どもから失われていく危険性がある。
- ・無償化政策で待機児童解消の保育所整備や保育士の処遇改善などの施策が停滞すると、「保育士不足」等が一層深刻となり、園運営の不安材料も勉強になった。

③ 無償化と公立保育施設の統廃合・配置・民営化

- ・無償化が地方自治体の財源に影響を与え、公立施設の統廃合と民営化を促進
 - ・公立保育施設の民営化は無償化によって始まったわけではないが、無償化要因によって統廃合・配置がすすむ。
 - ・公立保育施設の現状を分析し、公立保育施設の新たな方向を探ってみるという観点。
 - ・平成 23 年から 30 年にかけて公立保育施設は、149 か所から 1006 か所に大幅増
私立保育施設は 613 か所から 5154 か所に大幅増
 - ・公立保育施設から認定こども園への移行は 7 倍、民間保育施設から認定こども園への移行は 8 倍強である。
 - ・認定こども園化が進むと、中心部に配置した場合、高齢者が子どもの声が聞こえなくなるなど、孤独感が生まれるという意見もあった。
- 老朽化の施設の更新と再配置については、より長く利用する手法で改修し、建て替えに比べて財政負担が抑えられる。

所 見	・1990 年後半を境に、共働き等の世帯数が増え、核家族化が進み、また少子高齢化を背景に、さまざまな施策が進んでいるが、今回の幼児教育・保育無償化については、課題材料が多いと感じた。 ・今まで、副食に関しては保育料に盛り込まれていた分、別途実費で納める事により、特に多子世帯は負担増になる可能性もあり、利用者も運営側にとっても喜ばしくない事がある。市独自の給食副食費の補助も必要になってくるのではないか。 ・無償化によって、需要を掘り起こし、待機児童が増え、待機児童の解消のために保育の量を拡大すれば、保育士不足があげられる。 深刻な現状課題を抱えながら、子どもの安心安全、食費問題などの対応策がきちんと行き届くのか問題である。 ・真の無償化とは、すべての子どもに必要な保育を、質を確保しながら保証するとあったが、現時点でも保育士不足や環境が整っていない所も多く、働く側の視点でも十分な対応が必要だと感じた。 ・保育の質の 3 要素の関係として、プロセスの質、構造の質、労働環境の質とあった。構造の質に関しては、1 クラスの人数が増えれば、質の低下にもつながるとの事で、これらの 3 つのバランスが高くなる必要があるとの事。しかし、言葉では簡単であるが、実際の現場の声は切実。 ・認可外保育施設についても、認可保育所と同等の金額を上限に無償化されることが決まっているが、保育士資格を持った職員でなくても保育にあたることができ、認可施設に比べて死亡事故の割合が高い(26 倍)認可外保育施設についても、5 年間の猶予措置を設けて、その間は質についての条件なく無償化することになっている。今後、あきらかに質の低下を招くと言わざるを得ないと感じる。 ・消費税をあてにして、子どものための施策をするのが良いことなのかどうかといったことも含めて、「幼児教育・保育の無償化」は、問題や課題も多く、厳しい状況にあると感じた。
------------	---

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				7
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	資料作成費	金 額	490円	
内 容	コピー代			
支 払 先	加古川市	支払年月日	令和元年 5月 15日	
備 考				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

領 収 書

納入義務者 氏 名 落合 誠 様	番号 020
	年度 1

(款) 20 諸収入	(項) 07 雑 入
(目) 03 雑 入	(節) 07 雑 入

(事業) 公文書等写し交付収入

納付金の内容	白黒 49 枚									¥490
	カラー 枚									
延 滞 金										
合 計 金 額										¥490

上記の金額を領収しました。
令和 元年 5 月 15 日
加古川市会計管理者
(取扱者)
加古川市総務課文書統計係長
森位 耕三



所管課 総務課

代 表 者	経理責任者

支 払 伝 票			経理番号
			8
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度
項 目	備品消耗品費	金 額	6,663円
内 容	キャノンプリンターインク代		
支 払 先	エディオンニッケパークタウン店	支払年月日	令和元年 5月 22日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

領 収 証

2019年05月22日

女性の笑顔で未来を創る会と維新様

金 額 ￥6,663 -

但しインク代金として(キャノン純正品6色2141007) 381,380

消費税等493円含んでおります

No.305233479
発行店 ニッケパークタウン店
電話番号 079-456-8008

金種	内訳
現金	6,663
クレジット	0
ギフト券等	0
ポイント	0
振込	0

発行者



株式会社 エディオン
(作成地)
大阪府大阪市北区中之島二丁目
3番33号



お買上明細書

発行日 2019年05月22日(水) 12:28
店: 10269 ニッケパークタウン店

電話 079-456-8008

担当者: [Redacted]

No. 10269-305-233479

POS: 305

取引種別: 持帰

プリンタ消耗品
キャノン

BCI-381+3806MP
4549292100044

1

¥6,663

合計金額
(内消費税

¥6,663
¥493)

現金領収額

¥6,663

お預り

¥10,000

お釣り

¥3,337

EDION
エディオン

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			9
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度
項 目	調査研究費	金 額	9,519円
内 容	視察先手土産代		
支 払 先	株式会社春光堂	支払年月日	令和元年 5月 27日
備 考	(5/15 矢野県) (5/22 矢野県) (5/23 資生堂)		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

5/23 春光堂

領 収 証

No 91413

女性の笑顔と未来を信じる会と維新 殿

金	百	拾	万	千	百	拾	円
			4	3	4	4	2

収 入

印 紙

但 午土産代として

上記の通り正に領収致しました

平成 1 年 5 月 27 日
令和

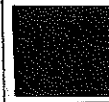
加古川市加古川町寺家町11-2

株式会社

春光堂

電話 (079) 423-1123 番(代)

取扱人認印



5/15 春光堂

領 収 証

No 91411

女性の笑顔と未来を信じる会と維新 殿

金	百	拾	万	千	百	拾	円
			4	3	5	5	0

収 入

印 紙

但 午土産代として

上記の通り正に領収致しました

平成 1 年 5 月 27 日
令和

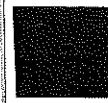
加古川市加古川町寺家町11-2

株式会社

春光堂

電話 (079) 423-1123 番(代)

取扱人認印



5/22 兵庫県

領 収 証

№ 91412

女性の笑顔で未来を創る会と維新殿

	百	拾	万	千	百	拾	円
金			4	2	5	2	7

収 入

印 紙

但 本土産代として

上記の通り正に領収致しました

平成 1 年 5 月 27 日
令和

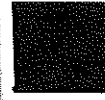
加古川市加古川町寺家町11-2

株式会社

春光堂

電話 (079) 423-1123 番(代)

取扱人認印



代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			10
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度
項 目	資料作成費	金 額	18円
内 容	コピー代(4月分)		
支 払 先	株式会社 六甲商会	支払年月日	令和元年 5月 22日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

領 収 証

領収証No. 20190520283278688

令和元年 5 月 22 日

下記の通り正に領収致しました。

女性の笑顔で未来を創る会と維新 様



代 表 者	経理責任者

支 払 伝 票			経理番号
			11
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度
項 目	備品消耗品費	金 額	6,674円
内 容	キャノン純正インク代		
支 払 先	ダイキ石守店	支払年月日	令和元年 5月 28日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

女性の笑顔で未来を
創る会と維新 様

領 収 証

2019年05月28日（火）

¥ 6, 6 7 4 -

上記正に領収しました（消費税等 494円を含みます）
但し、商品代（ふしや代）
DCMダイキ（株） 〒791-8022愛媛県松山市美沢1-9-1
DCMダイキ 石守店
TEL 079-(423)-7788
※保管上のお願
財布等で保管戴く場合は、印刷面を内側に折って保管願います。

※領収証明細
2019年05月28日(火)14:44 ｼｼﾞ0001

016 キャノン 純正インク
4549292100044
合計 ¥6,674
(内税 ¥494)
(税合計 ¥494)

現金 ¥6,674
お釣り ¥0
お買上点数 1点
ｼｼﾞNo1814 店No04058

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				12
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	調査研究費	金 額	2,260円	
内 容	吹田市役所「たばこ対策について」視察			
支 払 先		支払年月日	令和元年 6月 25日	
備 考				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				



出張調査研修報告書

令和 元年 6月26日

市議会議長様

会派名 女性の笑顔で未来を創る会と維新

出張者氏名 落合 誠



印

印

下記のとおり報告します。

日程 令和 元年 6月 25日 (火) ～ 月 日 ()

視察先 吹田市役所

研修事項

【たばこ対策について】

復命事項 (所見及び感想)

別紙にて

出張に伴う経費の精算

前渡金額 2,260 円

精算額 2,260 円 過不足額 0 円

■日程:令和元年 6 月 25 日(火)10:00～11:30

■視察先:吹田市役所

■研修事項:たばこ対策について

■視察対応者:健康医療部保健センター参事、主幹 2 名・総務人事室参事、主幹

■復命事項(所見及び感想)

まず、吹田市立保健センターより禁煙チャレンジについての説明をいただきました。

禁煙チャレンジでの禁煙治療費が最大 1 万円を公費助成される件ですが、まず、チャレンジに申込みいただき、原則 5 回の外来通院を終了して助成金申請を頂く形になり、医療費の自己負担額が 3 割の場合、保険診療による禁煙治療費は、約 13,000 円から約 20,000 円前後で、その分の一部が結果として助成されるとの事でした。

平成 29 年度は、111 名の申込みがあり、助成金の申請は、49 名であったそうです。また、平成 30 年度は、88 名から申込があり、助成金の申請は、59 名だったそうです。

吹田市の喫煙率は、男性 21.4%、女性 6.1%であり、対象者は、先着 100 名を募集しており、一部の喫煙者になりますが、通常の禁煙外来での禁煙率約 6 割より、この制度を利用することで約 7 割の率に約 1 割アップしており、効果があるとの認識で今後も継続的に行っていくとの事でした。この制度を利用した方の意見として、5 回の通院も 1 万円の助成があることで継続の意欲も高まり、継続できたとの声も多いそうですし、更に、お金の助成だけでなく、申込みより約 1 か月後と約 3 か月後、更に、助成金申請後約 9 か月後に郵送で、継続の励ましのお便りとアンケートを実施する事で、応援を継続的に行っているとの事でした。また、今後の禁煙支援として、アンケートを大阪大学と連携して調査研究することで、今後の支援のあり方を研究しており、今後の事業に生かしていくとの事でした。

加古川市においても、禁煙しようと考えている人のきっかけとなるような制度と、一人で禁煙に頑張ってもらうのではなく、市役所職員にも応援して頂いていることと、保健師がいつでも相談に乗って頂ける体制により、禁煙の成功率アップと禁煙者の増加を促進することで、結果として受動喫煙を抑制する一助にすることが必要と考えます。

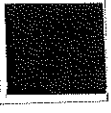
次に、市職員に対しての「たばこ対策として」①禁煙サポーター制度(各室課から 1 名から 2 名のプロジェクトリーダーの選出)②キャラバン活動(啓発活動を行っている)③禁煙支援(「禁煙取組み中バッジ」「禁煙成功バッジ」の配布による他者への公言と電話等による途中でのサポート)④啓発媒体など(スモークフリー大使任命やホームページ、ポスターなど多くの機会に PR)⑤全職員によるスモークフリー宣言(全職員が宣誓書を記入)などの取組みを行う事で、市の職員が率先して禁煙に取り組むことで、職員の禁煙率アップと市民への啓発に繋げる様に実施しているとの事でした。

加古川市においても市の敷地内の喫煙禁止と勤務時間(休憩時間除く)内の喫煙禁止を行うだけでなく、禁煙する職員を全職員が支援する体制と保健師などによる個別の相談に対応する体制を確立することで、市民への更なる禁煙への取組み促進に結び付けることが必要であると考えますし、結果として受動喫煙を抑制することに結び付けることは、大変重要であると考えます。更に、吹田市では、以前より江坂駅周辺の路上喫煙禁止だけでなく、平成 31 年 3 月より吹田市役所の隣接する阪急吹田駅周辺を路上喫煙禁止地区として、違反者には、過料 2,000 円を徴収することを実施しているとの事でした。加古川市では、吹田市とは、人口密度等や乗降客数も違うので、路上喫煙禁止までする必要は感じていませんが、受動喫煙を抑制するためにも喫煙者をはじめとする市民への PR の徹底は、重要であると思われます。また、多くの施策や制度の確立を望みます。 以上

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				13
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	調査研究費	金 額	3,334円	
内 容	吹田市役所視察手土産代			
支 払 先	株式会社 春光堂	支払年月日	令和元年 6月 25日	
備 考				

領収書

領 収 証							No 91415
加古川市議会 女性の笑顔で未来を創る会と維新の会 議員 殿							
金	百	拾	万	千	百	拾	円
			4	3	3	3	4
但 手土産代として							
上記の通り正に領収致しました							
令和 元年 6 月 25 日							
加古川市加古川町寺家町11-2							
株式会社 春光堂							
電話 (079) 423-1123 番(代)							
							収入 印 紙
							取扱人認印 

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			14
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度
項 目	資料作成費	金 額	12円
内 容	コピー代(5月分)		
支 払 先	株式会社 六甲商会	支払年月日	令和元年 6月 27日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

領 収 証

領収証No. 20190625288209240

令和元年 6月27日

下記の通り正に領収致しました。

女性の笑顔で未来を創る会と維新 様

株式会社 六甲商会

金額 ￥12

5月分コピー代



代 表 者	経理責任者

支 払 伝 票				経理番号
				15
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度	
項 目	広報費	金 額	1,050円	
内 容	市政報告会会場費 (令和元年9月1日)			
支 払 先	加古川市立勤労会館	支払年月日	令和元年 6月 12日	
備 考				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

加古川市立勤労会館利用許可書兼領収証

令和元年 6 月 12 日

住所(所在地) 加古川市加古川町北在家2000

団体名 加古川市議会女性の笑顔で未来を創る会と維新

氏名(代表者名) 落合 誠 様

一般社団法人
加古川労働者福祉協議会代表理事



次のとおり利用を許可します。

利 用 目 的	市政報告会 ※営利目的(下記参照)に ☐ 該当する ☒ 該当しない											
利 用 日 時	令和元年 9 月 1 日			年 月 日			年 月 日					
(該当欄に○印を記入) ※利用時間には、準備と片付の時間を含みます。	☒	午前	9時～12時		午前	9時～12時		午前	9時～12時			
		午後	13時～17時		午後	13時～17時		午後	13時～17時			
		夜間	18時～22時		夜間	18時～22時		夜間	18時～22時			
利 用 室 名	201											
利 用 予 定 員 人	40 人			人								
利 用 す る 附 属 設 備	マイク・プロジェクター・スクリーン その他 ()			マイク・プロジェクター・スクリーン その他 ()			マイク・プロジェクター・スクリーン その他 ()					
利 用 責 任 者 名	住所 氏名 同上 電話番号 [REDACTED]											
備 考												

利用料金等	会館利用料金	1050	円	左記利用料金を領収しました。 年 月 日 19. 6. 12 加古川市立勤労会館 Tel. (079) 423-1535
	附属設備利用料金	0	円	
	実費徴収	0	円	
	減免額	0	円	
	合計	1050	円	

※裏面の利用者心得をお読みください。当館にはエレベーター及び駐車場はありません。
※既に収受した利用料金は原則返還できませんが、基準により利用の5日以上前に還付請求書を提出すれば一部を返還できる場合があります。詳しくは裏面をご覧ください。

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			16
会 派 名	女性の笑顔で未来を創る会と維新	年 度	令和 元 年度
項 目	備品消耗品費	金 額	1,495円
内 容	コピー用紙A4		
支 払 先	株式会社ナフコ	支払年月日	令和元年 6月 20日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

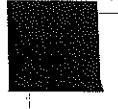
領 収 証
 NO:0799297
 2019年06月20日
 女性の笑顔で未来を創る会と維新様

¥1,495- (全額現金支払)
 (入金分消費税等 110円を含む)

但し、お買上レシートNo.007-44395 品代
 (コピー用紙A4)

お買上店舗
 ナフコ南加古川店 TEL:079-456-6301
 株式会社ナフコ
 本社：福岡県北九州市小倉北区魚町2-6-10

担 当



お買上明細

ホームプラザナフコ 南加古川店
 2019年06月20日 09:10
 担: 

21 国産高白色コピー用紙 A 4
 20973131 ¥1,495

合計 ¥1,495

*マークは、広告商品です。

ご返品の際は領収証をあわせて、
 お持ち下さい。